

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

第19回 会員総会

# 議案資料

2020年6月23日（火）

（15：00～16：30）

グランハート町田 レンタルルーム トマト

## - 議 案 -

第1号議案	2019年度 事業報告書 (案)	…	1～13頁
第2号議案	2019年度 決算報告書 (案)	…	14～20頁
第3号議案	第5期役員体制 (案)	…	21頁

## 一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

## 2019年度町田市介護人材開発センター事業実績報告書

## 1 総括

2019年度は、町田市介護人材開発センター（以下、センター）事業が8年を過ぎ、各種連絡会事務局数も増え、関わりも深くなり、町田市の介護保険関係事業の要となれるよう前進した。また、町田市の受託事業も増えてきたことを町田市からの期待と受け止めて事業の実施に取り組んだ。

センターの認知度のさらなる向上を図るため、研修や連絡会、関係団体の情報をホームページやメールで提供するとともに、Facebookやinstagram等のSNS、「まちカフェ」への参加、タウン誌等の広告媒体の活用等を幅広く行った。また、町田市の協力も得て、町内会自治会の回覧板や公共施設へのポスター掲示を通して市民及び関係者等への啓蒙・周知に取り組んだ。

会員事業所数も3月末時点で424事業所となった。昨年の同時期に比べ22事業所増加し、入会率は約75%から79%となった。新たな会員の獲得を含め、会員事業所の期待により一層応えていく必要がある。

財源の安定に向けては、受託事業を増やしていくことや介護人材バンクの安定した経営を目指して継続した取り組みを行っていききたい。

個別の事業については、計画書の事業番号に添って下記に報告する。

## 2 各種事業実績

## (1) 人材確保事業

## 01 町田市介護人材バンク

開始して4年度目となるアクティブシニアを対象とした無料職業紹介（旧：アクティブシニア介護人材バンク）と、2017年度に開始して3年度目となる有料職業紹介を今年度より「町田市介護人材バンク」として一体的に実施した。

町田市介護人材バンクでは、下記の相談会や面接会等を実施した。また、周知活動に力を入れ、様々な機会にリーフレットやティッシュ等を配布した。

- ・出張求職相談登録会（毎月各地域の市民センター等にて実施）
- ・まちいきヘルパー養成研修（受託事業）
- ・女性向け就職支援イベント（受託事業）
- ・介護の入門的研修（受託事業）
- ・人生100年時代を生きるために介護のことを知ろう！

（厚生労働省補助事業・主催：PWCコンサルティング合同会社）

今年度の求職登録者数は22名で、そのうち就労に至ったのは2名であった。求職登録者数は前年度より1.5倍となったが、当バンクを訪れる求職者はそれぞれに様々な事情を抱えた方が多く、その中で常勤として就労可能な有資格で且つ経験のある求職登録者の確保は厳しい現状である。

また有料職業紹介では、夜勤ができる常勤職員の紹介を希望される法人の比率が高く、非常勤職員の有料職業紹介での受入れは難しいケースが多い。人材確保に対して有料職業紹介を積極的に活用する法人と消極的な法人に分かれている。就労後も経過や定

着を確認し、資格取得や非常勤職員から常勤職員への移行等の実績を積上げて行くことで認知度や受入れ実績を上げて行きたい。

アクティブシニア対象には、新しい参加者や求職登録者の増加を目指して、アクティブシニア層が興味を持っている健康等をテーマとした特別講座を5回開催し、85名が参加した。新たな層の開拓にはなったが就労相談までに至らない参加者も多かったため、今後の講座の内容は再検討していきたい。

講座以外にも出張求職相談登録会やセンター事業等の様々な機会に事業周知を行った結果、今年度は74名が求職登録した。ヒアリングは延べ380名に行い、丁寧なマッチングに努めた結果、30名が就労につながった。就労後も定着支援を目的としたインタビューを52件実施した。

町田市介護人材バンク通信第13～17号を発行し、研修の案内、就労者へのインタビュー、求人情報等を記事として掲載し、情報提供の充実を図った。

求人を拡大するため、求人登録事業所への定期的な連絡のほか、ハローワークで行っているミニ面接会に参加した法人への周知、まちいきヘルパー養成研修や介護の入門的研修で実施した相談面接会等での新たな求人依頼、就労者インタビューから得た求人情報等の活用により、464件の求人登録を得ることができた。求人登録数の増加は求職者にとっては選択の幅が広がり、介護施設での人材確保の一端を補うことにつながった。

## 02 介護・福祉ミニ面接会

ハローワーク町田との共同面接会を継続し、雇用機会を維持する取り組みを年10回実施した（年11回実施予定のところ、3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）。223名（昨年度113名）の求職者が参加し、25名（昨年度18名）が就労に至った。昨年度と比較すると参加者数は110名増、就労者数も7名増となった。ハローワーク町田の担当者と協力し、参加者数の増加を目指して動画での施設紹介や求人事業所と求職者との連絡先の交換等を取り入れた結果、下半期で求人者が倍増した。介護分野に特化した定例の面接会は唯一であるため、今後も、ハローワーク町田と連携して参加者を増やしていきたい。

## 03 地域密着型就職面接会・福祉のしごと相談面接会（協力）

町田市社会福祉協議会の「福祉のしごと相談会」に協力・後援し、採用機会の確保に努めた。昨年度より6名少ない91名の参加者数であった。町田市で参加できる福祉（高齢・児童・障がい）の面接会であることが参加のきっかけになっている。

ハローワークとの共催であることから、求職活動の一環として来場した参加者もあったと考える。東京都社会福祉協議会と共催で実施していることから、都内全域に周知されており、町田市内43名、市外28名と幅広い地域から参加があったが（未記入20名）、約半数は市内からの参加であった。

当センターでは「相談コーナー」を設置し15名の相談に応じた。その内5名がバンク登録者であった。

## 04 市民向け基礎介護技術講習会

市民向け介護技術講習会を継続し、家族介護者の基礎介護技術習得、介護や認知症への理解を深めるとともに、介護の仕事に関心を持つ参加者への就職支援、現任職員への基礎介護技術の学び直しの機会となった。

昨年度より2名多い参加者数となった。市民が63名、事業所が20名の参加となり、昨年度以上に市民からの参加が多くなった。必要性や意識が高まっていると言える。基本動作（立つ・座る・寝返り）から始めることで理解が得られやすく、移動・移乗介助の基本を、介護する側・される側で体験することで理解が深まっていると考える。

他市ではこのような研修がないとのことで遠方から参加の問合せもあった。年3回実施しているが、市民の参加が増え、そのうち就労希望者の割合も増加傾向にある。この講習会が就労のきっかけの一つとなり得るものと考えている。

また、地域や家庭での介護者の増加を想定すると市民や介護職経験の浅い職員が介護技術の基本を学ぶことで、家族や利用者だけでなく自分自身の身体を守ることができるということを知る機会にもなっていることから、今後も継続して実施していく必要がある。

## 05 まちいきヘルパー養成研修 【高齢者福祉課受託事業】

1回20時間コース（1日5時間を4日間）の研修を1回実施した。事業所へのアンケートより事業所が雇用を希望するまちいきヘルパーの人数が54名であったことから会場の定員を含め、募集定員を各40名に決定し、受講者を募集したところ34名の応募があり、28名が修了した。「まちいきヘルパー」として10名、その他で4名が就労に至った。これまでの修了生を対象としたフォローアップ研修を3月に実施する予定であったが新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

## 06 町田市介護の多様な担い手創出事業 【いきいき総務課受託事業】

「女性向け就職支援イベント及び施設見学会の実施」

第1回 テーマ：気持ちも第一印象もアップ ヘアメイク講座 参加者14名

第2回 テーマ：知っておきたい！社会保険や税金のこと 参加者27名  
講義終了後、求職相談登録会実施。

## 07 町田市介護の多様な担い手創出事業 【いきいき総務課受託事業】

「介護の入門的研修」1回21時間コースの研修を実施。

第1回 10月10日～11月7日、5日間実施

参加者26名 修了者22名 就労者3名

研修最終日に、就職相談会を実施

第2回 2月18日～3月17日、5日間のうち第1～2日目実施

参加者32名

「新型コロナウイルス感染拡大防止」のため第3～5日中止

## 08 町田市介護の多様な担い手創出事業 【いきいき総務課受託事業】

「在住外国人と介護関係者の交流会等」

・町田市・外国人介護人材シンポジウム

「外国人介護人材の制度や現状と今後の見通し」をテーマとした基調講演とパネルディスカッション 参加者39名

・介護のしごと「ワールド・トーク・カフェ」

法人関係者と外国人の交流会 参加者52名（うち外国人21名）

・外国人のための介護のしごとサロン&日本語教室

全6回 参加者数56名（延べ人数）

#### 09 町田市内高校・専門学校・大学や市外の学校との連携

夏休みを中心に開催した「まちけあ★キッズ」(No.11)のボランティアを募集し、6日間で49名の学生ボランティア（桜美林大学、野津田高等学校他）が介護施設での体験学習に参加した。施設職員との関りや子どもたちのサポートを通して、今後の介護人材の確保に対する有効な協働、連携になった。

#### 10 学校での特別授業

今年度は、7月に町田福祉保育専門学校で卒業生を講師に招いて開催した。身近な卒業生の講話は学生にとって伝わりやすく、学生からの評価が高かった。また講師を引き受けた施設職員にとっても、人前で話すスキルを高める機会となった。3月に予定していた野津田高等学校での授業は「新型コロナウイルス感染拡大防止」により中止となった。

今後、特別授業を行う学校を広げていくことも介護の担い手の道筋をつけていく上で必要であると考ええる。

#### 11 小学生向け講座「まちけあ★キッズ」

6月から11月までの間に7施設で小学生を対象にした介護のしごと体験を実施した。140名の子どもたちが、介護施設で働く介護福祉士・看護師・栄養士等様々な専門職の仕事や福祉用具・機器を体験した。また、付き添いで来た保護者も参加して親子で体験できたことも好評だった。

参加した保護者の中からその後「介護の入門的研修」を受講・修了し、体験した施設に就労した方が得られたことも大きな成果であった。

#### 12 町田市内における介護職員初任者研修開催状況の情報提供

年6回実施。この情報から受講された方もあった。無資格で介護職員として働いている方や、これから介護職員として働くことを目指している方にとって、資格取得のための情報提供として一役を担うことができたと考ええる。

#### 13 町田市内養成校卒業生就職状況調査

市内大学・専門学校など6校に依頼し全学校の回答を得た。卒業した学生のうち福祉関係に就職したのは、4.7%であった。昨年の4.3%から微増であった。

介護関係施設・事業所に就職した127名のうち、町田市内での就職は12名と前年度よりも減少しており、市内にある学校から一人でも多く、市内に就職できる環境整備が必要である。

市内の学校から市内の施設・事業所への就職に結びつけるためには、市内の施設・事業所のPRや周知・啓発の活動をもっと強く行なっていく必要がある。また、福祉系学

部以外の卒業生にも福祉・介護の仕事に興味を持ってもらえるよう働きかけていくことが必要である。さらに、大学や専門学校だけではなく、高校や中学、小学校という時期から福祉の仕事に興味を持てるような活動も必要となってくると考えられる。

#### 14 町田市介護保険事業所介護職員雇用動向基礎調査

介護職員がいる事業所333事業所にアンケートを実施。回答率は51.1%。今回の調査で、訪問介護員が実質的に縮小傾向に入ったことが明らかとなった。この傾向が続くと、事業所閉鎖やサービス提供の縮小が進み、ますます施設依存が進むと予測される。介護職員の定着に向けた働きやすい職場環境の改善に本格的に取り組まなければならない危機的な状況にあると思われる。それは採用活動よりも法人や事業所全体の在り方を大きく変える総合的な取り組みであり、短期間に成果が出るものではないように思われる。法人内や事業所内だけでは視野が狭くなるので、他法人と連携しオール町田で共通の課題に取り組むことも必要ではないか。

外国人介護職員の雇用について、技能実習生等制度の難しさを考慮すると、現実的な可能性は配偶者等の在留資格と留学生にあるように思える。日本語教室の実施など町田での生活や仕事のし易い環境を整備することが長期的な視点で雇用拡大につながると考えられる。

介護人材バンクに関する調査結果からアクティブシニアの雇用拡大は、やはり事業所の受け入れ態勢の整備と比例しているように考えられる。事業所内で多様な働き手にあったマネジメント職員を配置する等の環境整備が必要である。求職意欲のあるアクティブシニアは、今後増加すると予測されるので、マッチングの幅を広げるためにも介護業務の周辺の業務の切り分けなど、仕組み作りを事業所とともに取り組んでいくことが求められている。この課題についても、前述の通り他法人と連携して取り組むことが効果的と考えられる。

## (2) 人材育成事業

#### 15 出張訪問研修

9回分の出張研修の依頼を受けたが3月に発生した新型コロナウイルスの感染拡大防止から3回が中止となり6回の実施となった。実施内容は「マナー講座」「リーダーシップ」「コンプライアンスと職業倫理」であった。中でも「マナー講座」は4回実施した。毎年度継続して実施している施設もあり講座内容が評価されていると思われる。78名の参加があったが昨年度よりも大幅な減となった。

#### 16 法令遵守・運営基準・法改正研修

町田市介護保険課共催研修として各連絡会別に実施。合計で5回、延べ289名の参加を得た。各連絡会によって参加人数にばらつきがあるが、プランニングを担当する支援センター・ケアマネジャーに対しては基本的にどの研修にも参加を呼びかけて、各事業職種の理解を深めていくための研修としても位置づけている。

多職種・同職種の連携を作っていく場としても研修会は必要である。市内各事業所が適正なサービスを提供していくために、今後も町田市と連携して実施していく必要がある。「地域包括ケアシステム」をより意識し、「地域共生社会」も意識した内容の「法令遵守研修」も検討が必要と考える。

## 17・18 相談援助研修 初級編・上級編

町田市介護保険課共催研修「相談援助研修」では「初級編」延べ213名（昨年度163名）、「上級編」延べ318名（昨年度276名）の参加を得た。双方の研修で定員を上回ることができた。主任ケアマネジャー推薦要件研修の位置づけであったことも参加者数増の一因と考えるが、各職種で相談技術の向上を目的にした参加者も多くなっている。ケアマネジャーの質を上げていくことは国の課題ともなっており、相談援助者として質を上げていくことは急務である。今年度も初級編と上級編を分けて実施したが、どちらも高評価を得られたことは意識の向上につながったと考えられる。市内には500以上の事業所があることから「相談援助技術」の向上は必須である。

## 19・20・21 高齢者支援センター職員研修・施設職員虐待防止研修

今年度より高齢者福祉課の共催ではなくなったが、「高齢者支援センター職員研修（高齢者虐待への対応について）」、「高齢者支援センター職員研修（権利擁護事業の各専門職の役割）」、「施設職員虐待防止研修」を実施した。3つの研修に延べ97名が参加し、大変高評価を得られた。「権利擁護事業の各専門職の役割」では、町田市社会福祉協議会が講師であったことから地域の話や事例が多く取り入れられ、高評価が得られたと考える。虐待は予測や早期発見が重要であるため、研修で学ぶことにより気付きのポイントをおさえておくことがとても大切である。ケアマネジャーや高齢者支援センター職員、施設の職員がその視点を共通認識としていくためにも、必要な研修である。

## 22 新任職員研修

「社会人としてのマナー」「介護における接遇と基準行動、リスク管理と安全衛生」というテーマで実施し、20名の参加があった。各講師による実技や実体験を交えた講義は参加者にとって大変有意義であり、高い評価を得られた。

## 23 ケアリーダー育成研修

延べ60名の参加があったが、昨年度より延べ4名減、定員に対しては2割減となった。各施設の中間管理職にも相当するケアリーダーとして、アクティブ福祉 in 町田での「研究発表」に向けた内容を他施設の職員と話し合うことが出来たことは、とても有効であった。パワーポイントを使っての発表に向け、班ごとに協力しながら準備をすすめることが出来た。前向きな意見が多く、日々の業務を改めて考える時間となり、参加者にとって得られるものが多かったと考える。

## 24 町田市認定調査員研修事務業務 【介護保険課受託事業】

・新規研修：年2回 新任調査員を対象とした研修を町田市役所にて実施。延べ43名参加。前年度より33名減となった。

・フォローアップ研修：年6回実施。市役所・市民センター会議室等で実施。延べ131名参加。昨年度より64名増となる。

① 2019年度新規受講生を対象に2回実施。内容は「調査時の聞き取り方と正しい選択」、「事例 分かり易い特記事項」、「eラーニング」。44名の参加があった。



- ② 現任調査員対象に2回実施。内容は「事例 伝わり易い特記事項」、「グループワーク」、「eラーニング」。54名の参加があった。
- ③ 全認定調査員対象に2回実施。内容は「定義と選択基準の確認・正しい選択」、「模擬審査会」。33名の参加があった。
- ・内部研修：年2回 町田市調査員、事務受託法人の認定調査員を対象として「障がいから介護保険への移行調査」、「認定調査時の工夫と対応について」の研修を実施。延べ67名参加。
- ・現任研修：年2回 町田市内の全受託法人の認定調査員を対象として「聴覚障がいに関する基本的知識を学び、認定調査時の適切な対応方法とコミュニケーション方法を知る」をテーマに健康福祉会館で実施。延べ154名が参加。

研修参加者からは大変高評価を得られた。町田市とも企画から検討し、町田市の認定調査員のレベルアップを図る研修事業を実施することができた。

## 25 「地域共生社会」について

社会福祉法人 愛川舜寿会の積極的な地域福祉への取り組みをテーマに実施。24名の参加があった。講師である法人常務理事の馬場先生は、ファッション業界から転身された経歴もあり、これまでにない視点や発想による「地域共生社会を目指した新たな挑戦」をさまざまな事例を交えて講義され、参加者からは多くの気づきを得られたと高評価であった。

## 26・27 「統合失調症について」「地域共生社会を作るうえでの介護保険事業所の役割」 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。

## 28 町田市や各関係機関からの要望に合わせた研修会の実施

町田市からの要請で地域密着型サービスにおける「口腔機能向上加算」をテーマに実施した。15名の参加があった。市内で加算を得ている地域密着型通所介護事業所の管理者に講師を依頼し、事例をもとにした講義をしていただいた。参加者からの評価は高かった。

## (3) 就労継続支援事業

### 29 第13回町田市医療・介護・福祉研究大会「アクティブ福祉 in 町田'19」

「アクティブ福祉 in 町田」は13年目を迎え「町田市医療・介護・福祉研究発表大会」は20題の発表題数で実施した。総参加者数467名であった。本大会は48名の施設職員等が実行委員として協力し大会運営を支えている。

「福祉用具展示」には福祉用具事業所連絡会と応募のあった事業者8社が出展した。市民を対象として「町田市介護人材バンク相談・登録会」や「健康機器測定会」、「無料体験マッサージ」、「介護川柳」・「まちけあ★キッズ」の展示を実施した。介護川柳は昨年度とほぼ同じ131題の応募があった。

### 30 介護福祉士国家試験受験対策直前講座（筆記編）

9名の参加があった。内容は「受験勉強事前学習の振り返り」、「科目ごとの内容把握」、「出題基準の確認」。受験対策学習だけではなく、試験会場に向かうときの心構

えや講師の体験を交えた講義で、試験対策だけでなく実際の業務にも生かせる内容であることが参加者からとても好評であった。

31 介護カフェ「医療介護義塾まちけあ」

介護職員等が自施設を離れて自由に集う環境を提供し、多様な参加者とのピア・ラーニングや意見交換等を通して相互のモチベーションアップやスキルアップにつながる活動を行った。介護職員や看護師などの現任職員が幹事となり、現場の悩みや課題をテーマとした研修会を幹事自らが講師となり企画運営した。今年度は幹事会の他、下記をテーマとした4回の研修会と交流会を実施し、延べ49名の参加があった。

- ・映える！ワクワクするポスター作り
- ・現場職員と語る介護の専門性
- ・自立支援の考え方 ～介護で入居者が元気になる・元気アセスメント～
- ・モチベーションアップの方法 ～輝くケアを続けるために～

32 サ責カフェ

サービス提供責任者が、職場を離れて自由に集える場所を提供し、サービス提供責任者が職務遂行にあたり「いまさら聞けない」初歩的な法令や運営基準等を再学習することで自信につながられた。また、不安や課題を共有化しながら自己を見つめ、情報交換等を通して実践力を高め合い、職場定着につながられた。「多職種連携・訪問マッサージ・ケアマネジャー等」の連携、ICTの活用や法令遵守をテーマに年間実施。参加者は様々な意見交換・情報共有ができる機会となった。

(4) その他受託事業

33 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事務局事務委託事業

【高齢者福祉課受託事業】

年3会の定例協議会、年2回の多職種連携研修会を事務局事務として、高齢者福祉課等と連携して運営に係る連絡調整・事務のほか、協議会に関する啓蒙活動（ホームページ、フェイスブック等）などを実施した。

34 要介護認定調査業務 【介護保険課受託事業】

年間件数：2215件受託

35 地域活動団体型サービス実施責任者向け登録前研修業務 【高齢者福祉課受託事業】

年2回を予定していたが、今年度は1回のみで開催となった。名称が「まちだ互近助クラブ代表者研修会」に変更された。

19団体33名が参加し、町田市介護予防・日常生活支援総合事業における「地域活動団体型サービス」を実施する団体の責任者に対して、サービス提供にあたって必要となる知識や注意事項に関する研修を実施した。

36 介護相談員連絡会 【介護保険課受託事業】

町田市内介護保険施設に介護相談員の派遣の連絡会事務を担当。毎月の報告書のとりまとめと、年8回の連絡会の事務局を担当した。

**(5) ネットワーク促進事業（法人事業）**

37～41 会員総会、理事会、運営委員会、ネットワークサポート委員会、委員会

会員総会、理事会、運営委員会、ネットワークサポート委員会を適宜実施した。

委員会（41）では、今年度「国際ケア人材サポート委員会」を立ち上げ、外国人介護人材への取り組みを話し合う会議を定期的に開催し、「町田市・外国人介護人材シンポジウム」や「介護のしごとワールド・トーク・カフェ」、「外国人のための介護のしごとサロン&日本語教室」の企画・運営に協力した。

また、「町田市介護人材確保戦略会議」を開催し、各法人経営者層が一堂に会する会議を実施した。町田市内の介護職員の確保に向けて協働して取り組む同意を得られた。今後、プロジェクトの立上げなど具体的な活動に向けて取り組んでいく。

42 町田市高齢者福祉施設部会・生活相談員部会

町田市高齢者福祉施設部会、生活相談員部会では事務局として、特養の特例入所指針見直しや医療処置対応一覧作成等に取り組んだ。新型コロナウイルス感染拡大防止については、各施設の対策や課題をメールなどで情報交換した。

43 町田市通所事業所連絡会

事務局として、連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの取りまとめ、各部会の調整や実施に取り組んだ。初めて連絡会主導の「合同運営推進会議」を開催した。

44 町田市福祉用具事業所連絡会

研修やケアマネジャーとの連携などを事務局として支援した。連絡会として「アクティブ福祉 in 町田」に参加し、福祉用具の展示を行った。また「住宅改修研修会」に福祉用具の貸出で協力した。

45 町田市訪問看護ステーション連絡会

連絡会主催の研修等を事務局として支援した。また、情報誌などの取りまとめも実施した。

46 町田市有料老人ホーム連絡協議会（旧町田市特定施設事業所連絡会）

連絡会主催の研修等を事務局として支援した。年度の途中で有料老人ホーム住宅型の会員入会を強く望む声があり、役員会で協議し入会となった。それに合わせて、会の名称を変更した。

47 町田市訪問マッサージ連絡会

事務局として、連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの作成、研修の調整などに取り組んだ。

48 町田市老人保健施設相談員意見交換会

町田市の要請もあり、老人保健施設の相談員に対して意見交換できる機会を作った。

49 町田市内の事業種別連絡会との連携及び組織化への支援

- ・町田市ケアマネジャー連絡会へは、研修事業などへのTV会議システムの貸し出しや、企画段階から参加するなどの支援をした。
- ・町田市グループホーム連絡会では今年度より事務局を担当。役員ともに円滑な活動の支援を実施。初めて連絡会主導の「合同運営推進会議」を開催した。
- ・町田市訪問介護事業者協議会・町田市小規模多機能連絡会では、代表者との意見交換などを実施した。

50 医療介護交流会

町田市内の医療・介護保険関係事業所と行政などとの交流会を町プロ「多職種連携研修会」で2回、「アクティブ福祉」で1回開催し、関係機関との連携作りを支援した。

51・52 会員事業所への情報提供、センター事業等の広報活動

行政、医療機関、関係団体等の情報をメールで随時配信した。「まちカフェ」に出展しワークショップや介護人材バンクの紹介を行った。また、Facebook や instagram 等 SNS を通じてセンター事業の紹介を行った。

53 一般社団法人グランハートでの「地域ケア会議」への参加、協働

グランハート町田で行われる「地域ケア会議」に参加した。グランハート町田の「3周年記念行事」に参加した。

54 TV会議システムの活用

町田市ケアマネジャー連絡会からの要請により、今年度開催の研修会にて、TV会議システムを活用した。

※ 各事業の詳細は、別紙「2019年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数」参照

**【会員組織・事務局】**

- ・町田市高齢者福祉施設部会－生活相談員連絡会
- ・町田市通所事業所連絡会
- ・町田市福祉用具事業所連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会
- ・町田市有料老人ホーム連絡協議会（旧 町田市特定施設事業所連絡会）
- ・町田市訪問マッサージ連絡会
- ・町田市グループホーム連絡会
- ・町田市老人保健施設相談員意見交換会

**【運営委員会・委員推薦団体】**

- ・町田市高齢者福祉施設部会
- ・町田市介護老人保健施設

- ・町田市ケアマネジャー連絡会
- ・町田市通所事業所連絡会
- ・町田市訪問介護事業者協議会
- ・町田市グループホーム連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会
- ・町田市社会福祉協議会
- ・町田社会福祉士会
- ・東京都介護福祉士会町田市介護福祉士会
- ・町田市福祉用具事業所連絡会
- ・町田市有料老人ホーム連絡協議会（旧 町田市特定施設事業所連絡会）
- ・町田市訪問マッサージ連絡会

**【推薦委員を派遣している外部委員会】**

No.	町田市外部委員会名	委員名
1	町田市高齢社会総合計画審議会	尾和瀬 久展 → 内山 良平（芙蓉園）
2	町田市地域密着型サービス運営委員会	吉田 美香 → 木口 圭子（清風園）
3	町田市高齢者支援センター運営協議会	小室 貴之（楓の風）
4	町田市介護保険苦情相談調整会議・介護苦情解決専門員	折原 太（まちだ正吉苑） →高橋 良彰（サルビア）
5	町田市高齢者虐待防止連絡協議会	河野 一平（悠々園）
6	町田市老人ホーム入所判定委員会	加藤千恵子（合掌苑） 保坂 健久（福音の家）
7	町田市中学生職場体験推進協議会	多田 周史
8	町田市男女平等参画協議会	石原 正義
9	町田市社会福祉協議会評議員	多田 周史
10	町田市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会	菊池 明仁（レガメ町田）
11	町田市社会福祉協議会共同募金配分推薦委員会	朝妻 卓也（かりん・町田）
12	町田市支えあい連絡会（生活支援コーディネーター）	石原 正義

事業種別		内容(対象・回数・時間・定員・会場)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2018年度実績	
人材確保事業	介護人材バンク	01 介護の仕事相談・求職登録会 ※アクティブシニア特別講座は別途記載	4/24 5	5/22 1	6/26 6	7/24 5	8/28 2	9/26 4	10/23 2	11/27 0	12/25 3	1/22 2	2/26 3	3/25 中止	33	34	
	介護・福祉ミニ 面接会	02 高齢者福祉への就労を希望、関心を持っている求職者 毎月第3水曜 9:30~12:00 6~7法人/回 ハローワーク町田 ※（ ）内は採用実績	4/17 18(2)	5/15 17(1)	6/19 14(4)	7/17 15(2)		9/18 23(0)	10/16 16(2)	11/20 27(2)	12/18 30(4)	1/15 35(8)	2/19 28(0)	3/18 中止	223(25)	113(18)	
	地域密着型就職面接会・福祉のしごと相談面接会(協力)	03 身近な地域で、福祉の仕事を希望する方、その他、関心のある方 年1回 町田市民フォーラム							10/5 91							91	97
	市民向け基礎介護技術講習会	04 市民、事業所職員 年3回 13:00~17:00 清風園、いづみの里、桜実会 東京都介護福祉士会町田ブロック会			6/2 18			9/29 33					2/9 32			83	81
	町田市内高校・専門学校・大学や市外の学校との連携	09 学生が介護の仕事を知るための企画提案及び学生や学校との協働 「まちけあキッズ かいごのお仕事体験」でのボランティアなど			6/23 26	7/21 3	8/11,15,20,27 20									49	-
	学校での特別事業	10 年2回~ 希望する学校 7/18町田福祉保育専門学校、3/23都立野津田高等学校(中止)				7/18 48								3/23 中止		48	57
	小学生向け講座「まちけあキッズ かいごのお仕事体験」	11 夏休みに介護施設で実施 6/23福音会、7/21芙蓉園、8/11椿、8/15清風園、8/20グランハート 悠々園、8/27高ヶ坂ひかり苑、11/10杏林荘			6/23 36	7/21 18	8/11,15,20,27 62			11/10 13						129	-
人材育成事業	講師派遣	15 出張訪問研修 1回2時間~希望による		5/27 9	6/28 18	7/9 14	7/16 13					1/14,28 24		3/6,17,26 中止	78	422	
	介護保険課 共催	法令遵守	16 法令遵守・運営基準・法改正研修 年5回 18:30~20:30 定員:100名 町田市健康福祉会館他					8/21 (訪問) 64			11/27 特定 28	1/14 通所 72	1/21 CM 115	1/27 用具 10		289	357
		相談援助	相談援助研修(初級編)	17 相談援助研修(初級編) 全3回 14:00~16:00 定員:50名 町田市健康福祉会館 佐藤ちよみ氏(対人援助スキルアップ研究所 所長)	5/16 72	5/30 71	6/20 70									213	163
			相談援助研修(上級編)	18 相談援助研修(上級編) 全5回 13:30~16:30 定員:50名 町田市健康福祉会館 堀越由紀子氏(東海大学 教授)				7/16 67	8/20 65	9/24 62	10/15 62	11/12 62					318
	分野・領域別	支援センター	高齢者支援センター職員研修①虐待への対応	19 高齢者支援センター職員研修①虐待への対応 年1回 14:00~16:00 定員:100名 町田市健康福祉会館 茂木高利氏(田園調布学園大学)								1/29 42				42	90
			高齢者支援センター職員研修②権利擁護	20 高齢者支援センター職員研修②権利擁護 年1回 18:30~20:30 定員:50名 町田市健康福祉会館 町田市社会福祉協議会、町田市内関係者					8/6 40								40
		施設職員	施設職員虐待防止研修	21 施設職員虐待防止研修 年1回 18:30~20:30 定員:50名 町田市健康福祉会館 講師:未定								12/3 15				15	11
基礎知識・技術	新任職員研修	22 新任職員研修 年1回 9:30~16:30 定員:30名 ぼっぼ町田 富田静江氏(登録講師)、貝塚誠一郎氏(貝塚ケアサービス研究所 代表)	4/17 20												20	22	
リーダー育成	ケアリーダー育成研修(アクティブ含む)	23 ケアリーダー育成研修(アクティブ含む) 全6回 9:30~16:30 定員:20名 町田商工会議所 是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)		5/22 15		7/24 15		9/25 15		11/20 15					60	64	

## 2019年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2020/3/31 現在

事業種別		内容(対象・回数・時間・定員・会場)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2018年度実績	
就労継続 分野・領域別	多職種連携	25	「地域共生社会」について 年1回 18:30～20:30 定員:100名 町田市健康福祉会館 馬場拓也氏(社会福祉法人愛川舜寿会 常務理事)									12/4 22				22	76	
			口腔機能向上研修										1/27 15				15	-
	研究発表会	29	アクティブ福祉in町田'19 年1回 11:00～17:30 町田市文化交流センター 研究発表大会、介護用品・福祉用具展示PRコーナー									11/20 467					467	443
		資格取得	30	介護福祉士国家試験直前講座 筆記編 年1回 13:30～17:30 定員:20名 グランハート町田 是枝祥子氏(法人代表理事、大妻女子大学名誉教授)								11/30 9					9	8
相互啓発	31	介護カフェ 月1回 18:30～20:30 分室	4/19 6	5/17 5	6/21 4	7/19 6	8/16 5	9/20 7	10/18 4	11/15 4	12/20 中止	1/17 8	2/21 中止	3/19 中止		49	166	
	32	サ責カフェ 月1回 18:30～20:30 分室	4/17 8	5/15 10	6/19 11	7/17 11		9/25 13	10/16 9	11/27 9	12/18 4	1/22 6	2/19 9	3/18 中止		90	113	
アクティブシニア介護人材バンク		01	特別講座(フォローアップ研修) ※相談登録会は介護人材バンクと同時開催 年5回 14:00～16:30 定員:30名/回 町田市民フォーラム他	4/19 20		6/21 23			9/25 16		11/15 12			2/21 14		85	61	
多様な担い手創出事業(委託)		06	女性向け就労イベント 年2回 13:30～16:00 ①商工会議所						9/25 14					2/6 27		41	10	
		07	介護の入門的研修 年2回 10:00～16:00 ①ぼっぼ町田 ②商工会議所							10/10,17,24,31,11/7 26				2/18,25 以降中止 32		58	23	
		08	在住外国人と介護関係者の交流会等 年1回 シンポジウム14:00～16:30(中央図書館) 交流会 16:30～18:30(文化交流センター)								10/26 91						91	59
			年6回 介護のしごとサロン&日本語教室 11/13,27,12/11,1/8,22,2/5									19	11	20	6		56	0

※アクティブ福祉in町田のみ参加者総数、その他は参加実人数です。

2019年度 収支報告書(案)(総括表)  
自:2019年4月1日 至:2020年3月31日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

## 《収入の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考	
町田市補助金収入		18,000,000	18,000,000	0	センター事業、アクティブシニア介護人材バンク事業	
センター事業収入	参加費収入	1,316,100	1,388,000	△ 71,900	研修などの参加費(資料代含む) ※交流会や懇親会の参加費を除く	
	広告料収入	410,000	250,000	160,000	アクティブ福祉in町田 当日冊子への掲載	
	手数料収入	204,600	1,500,000	△ 1,295,400	人材バンク職業紹介手数料	
	計	19,930,700	21,138,000	△ 1,207,300		
法人収入	会費収入	3,651,800	3,400,000	251,800	正会員会費:3,645,800円、賛助会員:6,000円	
	受託収入(町田市等)		2,648,148	2,600,000	48,148	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会事務局事務
			18,346,800	16,200,000	2,146,800	町田市要介護認定調査業務
			1,378,324	1,387,500	△ 9,176	町田市要介護認定調査員現任研修事務局事務
			1,886,129	2,000,000	△ 113,871	まちいきヘルパー養成研修業務
			86,790	170,000	△ 83,210	まちだ互近助クラブ代表者研修業務
			485,000	482,000	3,000	介護相談員事業業務
			6,039,000	6,680,000	△ 641,000	町田市介護の多様な担い手創出事業業務
	計	30,870,191	29,519,500	1,350,691		
	その他受託収入(他市)	40,950	0	40,950	他市要介護認定調査業務	
	その他事業収入	30,185	120,000	△ 89,815	センター事業等の広報活動(他団体での講演、視察協力)	
	交流会参加費収入	964,000	1,200,000	△ 236,000	アクティブ福祉大会交流会、多職種連携研修懇親会	
	受取利息収入	116	0	116	受取利息	
	受託事業振替収入	500,000	500,000	0		
雑収入		0	0			
計	36,057,242	34,739,500	1,317,742			
収入計①		55,987,942	55,877,500	110,442		
投資活動収入②				0		

## 《支出の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考
管理費支出		173,448	200,172	△ 26,724	役員報酬等
事業費支出	人材確保事業費	4,710,955	4,803,763	△ 92,808	面接会、まちけあキッズ、介護技術講習会、調査、有料職業紹介
	人材育成事業費	3,844,749	3,951,060	△ 106,311	研修
	就労継続支援事業費	3,135,363	3,355,200	△ 219,837	アクティブ福祉、介護カフェ、サ責カフェ
	アクティブシニア人材バンク事業	8,026,974	9,759,075	△ 1,732,101	
	ネットワーク促進事業費	6,031,977	5,439,155	592,822	理事会、総会、連絡会、交流会等、消費税含む
	受託事業費	28,681,022	27,627,014	1,054,008	町田市受託業務
	ネットワーク促進事業振替支出	500,000	500,000	0	
	計	55,104,488	55,635,439	△ 530,951	
予備費⑤			242,061	△ 242,061	
投資活動支出⑥		386,800	0	386,800	
什器備品		386,800	0	386,800	
敷金支出		0		0	
当期収支差額 (①+②)-(③+④+⑤+⑥)		496,654	0	496,654	
前期繰越収支差額		9,519,611		9,519,611	
次期繰越収支差額		10,016,265		10,016,265	

※参考(事務局経費)

	決算額	予算額	差額	備考
人件費	39,236,913	38,713,022	523,891	常勤6名、嘱託2名、非常勤16名(3月末付)
経費	8,978,114	8,440,760	537,354	
合計	48,215,027	47,153,782	1,061,245	



# 決 算 報 告 書

---

(第 8 期)

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

## 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク  
事業名：事業全体

（単位： 円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収入			
会費収入	3,651,800	3,442,700	209,100
正会員受取会費	3,645,800	3,434,700	211,100
賛助会員受取会費	6,000	8,000	△2,000
事業収入	33,836,026	28,426,663	5,409,363
参加費収益	2,280,100	3,415,000	△1,134,900
広告費収益	410,000	260,000	150,000
町田市受託収益	30,870,191	23,713,000	7,157,191
その他の受託収益	40,950		40,950
その他の事業収益	30,185	70,000	△39,815
手数料収益	204,600	968,663	△764,063
受取補助金等	18,000,000	20,000,000	△2,000,000
受取地方公共団体補助金	18,000,000	20,000,000	△2,000,000
雑収入	116	120	△4
受取利息	116	120	△4
經常収益計	55,487,942	51,869,483	3,618,459
經常費用			
事業費用	52,228,052	44,540,758	7,687,294
給料手当	33,937,289	28,390,088	5,547,201
通勤手当	1,093,294	910,734	182,560
福利厚生費	194,112	198,659	△4,547
旅費	24,491	27,578	△3,087
通信費	1,346,322	1,164,433	181,889
消耗什器備品費	590,378	288,627	△288,627
広告宣伝費	589,410	733,210	△143,800
印刷費	1,219,591	1,409,912	△190,321
保険料	31,000	11,454	19,546
光熱水借上料	303,345	316,702	△13,357
賃貸会場借上料	3,834,822	2,870,307	964,515
諸租税公課	605,815	707,414	△101,599
法租税公利	1,808,438	2,290,588	△482,150
車委雑費	51,650	2,300	49,350
役員報酬	4,012,218	2,895,624	1,116,594
信託費	629,904	437,189	192,715
管理費	628,360	736,368	△108,008
役員報酬	1,327,613	394,403	933,210
員報酬	3,603,256	5,866,931	△2,263,675
会議費	173,448	184,583	△11,135
信託費	106,721	99,640	7,081
減価償却費	191,405	198,173	△6,768
消耗品費	1,296,820	1,230,599	66,221
広告費	72,162	194	71,968
広車賃		32,400	△32,400
減価償却費		95,320	△95,320
会場借上料	23,716	1,351,852	△1,328,136
諸租税公課	18,580	24,240	△5,660
法租税公利	1,353,300	941,200	412,100
車委雑費	72,500	49,000	23,500
役員報酬	294,604	1,659,730	△1,365,126
經常費用計	55,831,308	50,407,689	5,423,619
評価損益等調整前当期經常増減額	△343,366	1,461,794	△1,805,160

## 正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△343,366	1,461,794	△1,805,160
経常外増減の部			
経常外収益計	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△343,366	1,461,794	△1,805,160
法人税、住民税及び事業税	70,000	235,000	△165,000
当期一般正味財産増減額	△413,366	1,226,794	△1,640,160
一般正味財産期首残高	11,865,561	10,638,767	1,226,794
一般正味財産期末残高	11,452,195	11,865,561	△413,366
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	11,452,195	11,865,561	△413,366

## 貸 借 対 照 表

令和 2 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク  
事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	7,195,764	9,271,554	△2,075,790
現 金	16,117	35,744	△19,627
普 通 預 金	7,179,647	9,235,810	△2,056,163
未 収 金	5,170,155	3,277,319	1,892,836
未 払 金	311,878	326,718	△14,840
仮 払 金	3,756	6,934	△3,178
流 動 資 産 合 計	12,681,553	12,882,525	△200,972
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
設 備 造 作 具	1	41,762	△41,761
車 両 運 搬 具	2	748,997	△748,995
什 器 備 品	111,127	230,391	△119,264
敷	1,324,800	1,324,800	
そ の 他 固 定 資 産 合 計	1,435,930	2,345,950	△910,020
固 定 資 産 合 計	1,435,930	2,345,950	△910,020
資 産 合 計	14,117,483	15,228,475	△1,110,992
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	271,212	995,190	△723,978
未 前 受 金	1,161,200	1,150,400	10,800
預 り 金	293,476	56,124	237,352
未 払 消 費 税 等	869,400	926,200	△56,800
未 払 法 人 税 等	70,000	235,000	△165,000
流 動 負 債 合 計	2,665,288	3,362,914	△697,626
負 債 合 計	2,665,288	3,362,914	△697,626
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	11,452,195	11,865,561	△413,366
正 味 財 産 合 計	11,452,195	11,865,561	△413,366
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	14,117,483	15,228,475	△1,110,992

## 財 産 目 録

令和 2 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護ケアネットワーク

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>( 流 動 資 産 )</b>			
現普通預金	手元保管	運転資金として	16,117
	ゆうちょ銀行	運転資金として	3,901,875
	八千代銀行	運転資金として	3,277,772
未収金	受託費	町田市 認定調査3月分他	5,170,155
前払金	4月分家賃、共益費	家賃、会場代、広告掲載費	311,878
立替金	会費	研修懇親会費の立替	
仮払金	未精算分	仮払精算分残	3,756
<b>流動資産合計</b>			<b>12,681,553</b>
<b>( 固 定 資 産 )</b>			
<b>その他固定資産</b>			
設備運搬器具	パーティション	人材バンクで使用	1
什器備品	システムサーバー他	管理業務で使用している	2
敷保証金	原町田3-14-1.山崎	事務所	111,127
	新宿屋ビル(株)	駐車場リモートコントロール保証金	1,324,800
<b>固定資産合計</b>			<b>1,435,930</b>
<b>資産合計</b>			<b>14,117,483</b>
<b>( 流 動 負 債 )</b>			
未払金	パソコン他	3月分経費の未払分	271,212
前受金	次年度会費収入	ネットワーク促進事業の会費	1,161,200
預り金	源泉所得税預金	源泉所得税、社会保険料納付分	293,476
未払消費税等			869,400
未払法人税等	法人税都民税市民税	町田市役所、八王子都税事務所	70,000
<b>流動負債合計</b>			<b>2,665,288</b>
<b>負債合計</b>			<b>2,665,288</b>
<b>正味財産</b>			<b>11,452,195</b>

## 財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、建物附属設備は定額法）を採用しています。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,213,154	1,690,858	3,102,027
車輛運搬具	1,002,160	1,002,158	1,002,158
建物附属設備	216,561	102,468	216,560
合 計	4,431,875	2,795,484	4,320,745

# 2019年度 監査報告書

2020年 5月 19日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク  
代表理事 是枝 祥子 殿

監事

諫 山 英 一 

監事

谷 和 久 

## 1. 監査の実施概要

定款第25条に基づき、一般社団法人町田市介護サービスネットワークの2019年度（監査対象期間、2019年4月1日～2020年3月31日）の会計の状況について監査を行いました。

監査日時 2020年 5月 19日（火） 17:00～18:00

監査場所 グランハート町田 レンタルルームトマト

## 2. 監査意見

収支決算書、貸借対照表、及び関係書類について監査した結果、その内容は適正であると認めます。

以上の通り報告致します。

## 第5期役員体制（案）

## ＜基本方針＞

法人発足から8年が経過し、サービス事業所を取り巻く介護職等の人材確保が、一層困難になる中で、町田市との連携のもとでアクティブシニア介護人材バンク及び町田市介護人材バンクに取り組んできました。また、すそ野を広げる事業では、総合事業を担うまちいきヘルパー養成や外国人向け日本語教室、小学生向けのまちけあキッズ等にも取り組んできました。一方、「町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会」（以下、「町プロ」という）の事務局一部事務委託を継続し、医療と介護の多職種連携と共に事業者連絡会等のネットワークの促進に努めてまいりました。経営の安定化のためには、要介護認定調査委託事業を確実に実施する等収入増に取り組んできました。しかし、ますます人材確保及び定着化においても厳しい状況が続いており、本法人としても一層の取り組みが求められております。

第5期は、第7期町田市介護保険事業計画の重点課題の一つである、介護職等の人材確保及び定着化に取り組み、事業の継続性を図ること、ネットワーク強化を図ることを基本方針として、役員は継続して職務に精励させていただく所存でございます。

今後の環境の変化に迅速に対応し、役員が一丸となってさらなる事業経営に参画する体制が、会員利益を通して市民福祉の向上に寄与するものと確信し、第5期の役員候補者については、以下のとおり提案します。

## ＜第5期役員候補者案＞

敬称略

役員名	氏名	区分	所属等
理事	是枝 祥子	再任	大妻女子大学 名誉教授
理事	多田 周史	再任	(社福) 芙蓉会 法人本部 事務局長
理事	鶴田 尚子	再任	(社福) 福音会 町田愛信園 施設長
理事	岡林 得生	新任	町田市いきいき生活部 部長
理事	五十子桂祐	再任	町田市医師会理事地域医療福祉・町プロ担当 町田病院院長
理事	陶山 慎治	再任	(社福) 悠々会理事長
理事	北川 達三	新任	(社福) 賛育会 第二清風園 施設長
理事	沼田 裕樹	再任	日本社会事業大学 非常勤講師
理事	井上 ノリ子	再任	元(NPO) 桜実会玉川学園高齢者在宅サービスセンター長、元町田市社会福祉協議会 地域福祉推進室長
監事	谷 和久	再任	(社福) 町田市福祉サービス協会 事務局長
監事	諫山 英一	再任	税理士法人いさやま会計 代表 税理士

※第5期任期は、2020年6月23日定時総会から2022年6月定時総会まで